



**2020年3月期
第2四半期**

決算説明会

2019年11月12日

TOWA株式会社

本日の主な説明内容

- 1. 2020年3月期 上期実績**
- 2. 2020年3月期 通期予想**
- 3. 2020年3月期 下期取組み**

本日の主な説明内容

- 1. 2020年3月期 上期実績**
2. 2020年3月期 通期予想
3. 2020年3月期 下期取組み

2020年3月期 第2四半期 連結業績結果（前年比）

（単位：億円）

	2019/3期 1Q実績	2020/3期 1Q実績	対前年 同期比	2019/3期 2Q実績	2020/3期 2Q実績	対前年 同期比	2019/3期 上期実績	2020/3期 上期実績	対前年 同期比
売上高	76.1	47.3	▲28.8	76.8	69.1	▲7.7	152.9	116.4	▲36.5
営業利益	6.4 (8.4%)	▲5.8 (▲12.3%)	▲12.2 (▲20.7pt)	2.3 (3.0%)	4.0 (5.8%)	+1.7 (+2.8pt)	8.7 (5.7%)	▲1.8 (▲1.5%)	▲10.5 (▲7.2pt)
経常利益	6.9	▲6.5	▲13.4	2.6	3.7	+1.1	9.5	▲2.8	▲12.3
当期純利益	4.8	▲4.9	▲9.7	4.0	2.9	▲1.1	8.8	▲2.0	▲10.8

※当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

2020年3月期 2Qサマリー

受注・売上

- ▶ 米中貿易戦争による顧客の設備投資への慎重さは継続。想定よりも半導体市況の本格的な回復が遅れており当初予定と比較して受注・売上が減少。
- ▶ 足元の設備投資に弱さは残るものの、5G基地局向けやハイエンドデバイス向けの需要が増え、当社独自技術のコンプレッション装置の売上が伸長。
- ▶ 新事業のうち、受託加工が好調。ツーリング事業（工具販売・受託加工）の売上は、前年通期を超過。

利益

- ▶ 前第4四半期から継続するコスト削減と固定費削減を行うものの、売上高の落ち込みの影響を補えず上期は赤字となる。
- ▶ 当社が市場シェアの100%を握る独自技術のコンプレッション装置の売上が増加したことにより2Q（7月～9月）の利益率が改善。
- ▶ 収益性の高いコンプレッション装置の受注が好調に推移し、下期の利益率は改善。通期で赤字は解消する見込み。

2020年3月期 第2四半期 セグメント別売上高（前年比）

（単位：億円）

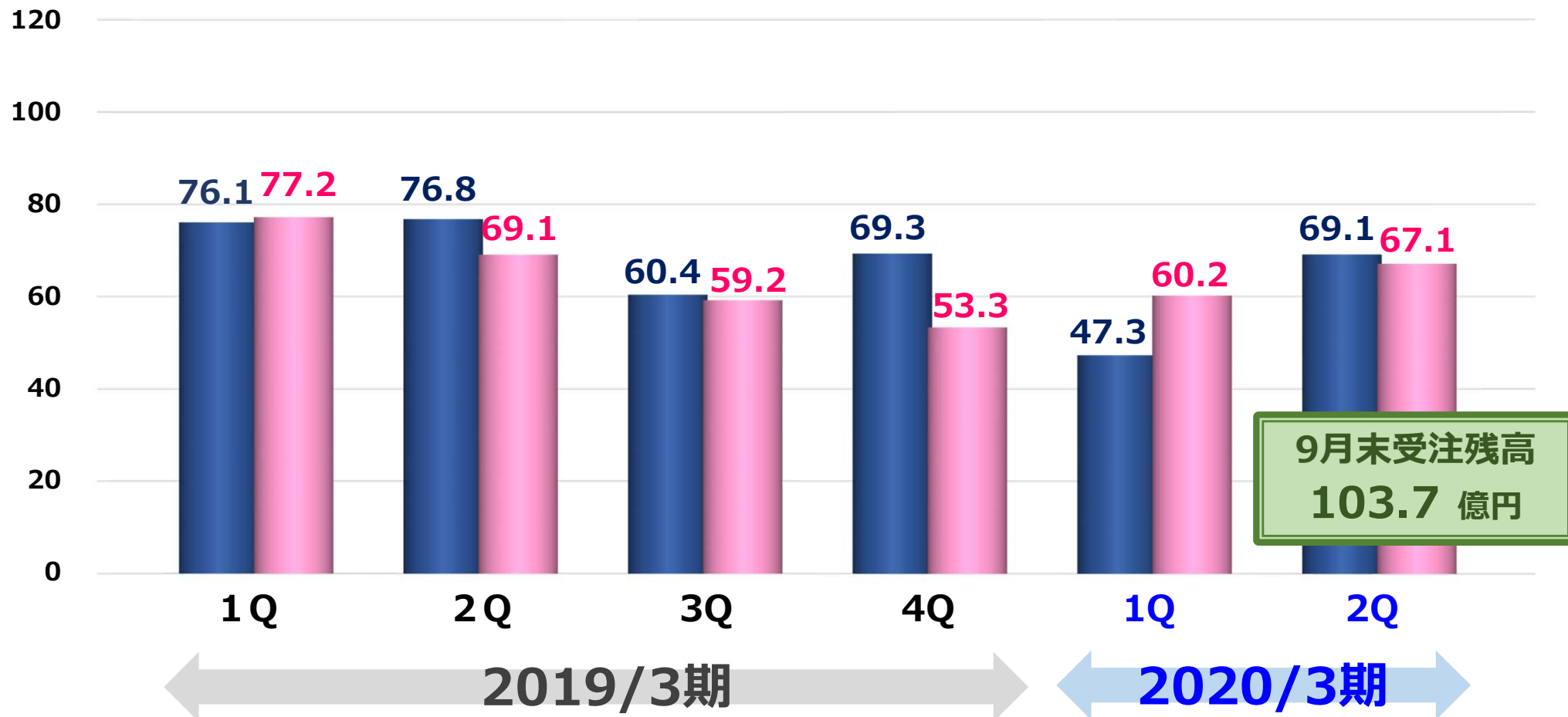
	2019/3期 1Q実績	2020/3期 1Q実績	対前年 同期比	2019/3期 2Q実績	2020/3期 2Q実績	対前年 同期比	2019/3期 上期実績	2020/3期 上期実績	対前年 同期比
売上高	76.1	47.3	▲28.8	76.8	69.1	▲7.7	152.9	116.4	▲36.5
半導体事業	60.1	27.4	▲32.7	56.5	47.3	▲9.2	116.6	74.7	▲41.9
化成品事業	3.6	4.0	+0.4	3.8	3.9	+0.1	7.4	7.9	+0.5
新事業	12.4	10.7	▲1.7	12.4	13.6	+1.2	24.8	24.3	▲0.5
レーザ事業※	-	5.2	+5.2	4.1	4.3	+0.2	4.1	9.5	+5.4

※オムロンレーザーフロント社の株式取得により2018年8月よりセグメントを追加

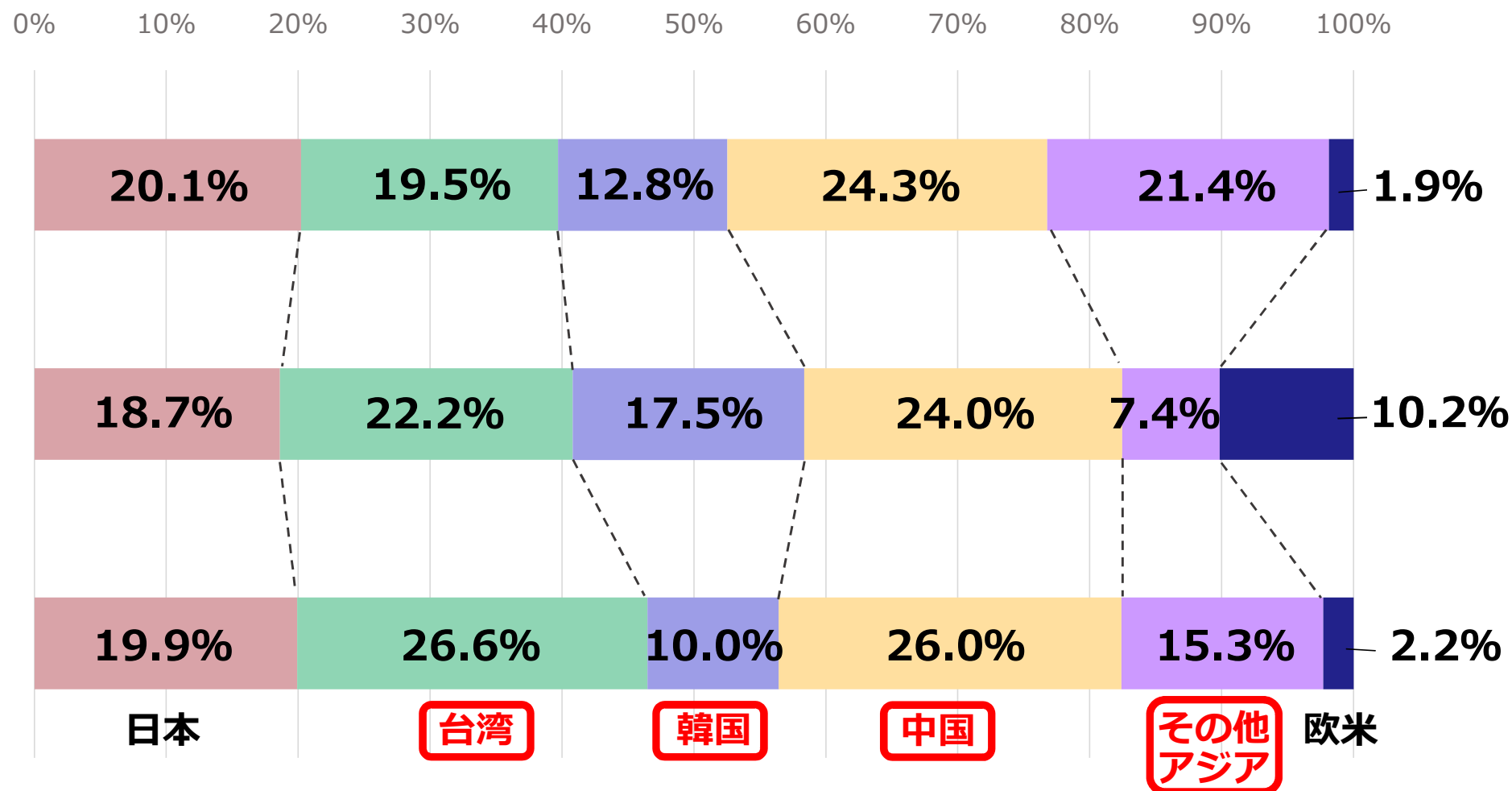
受注・売上高の推移

(単位：億円)

■ 売上高 ■ 受注高



2020年3月期 第2四半期 地域別売上高（仕向地ベース）



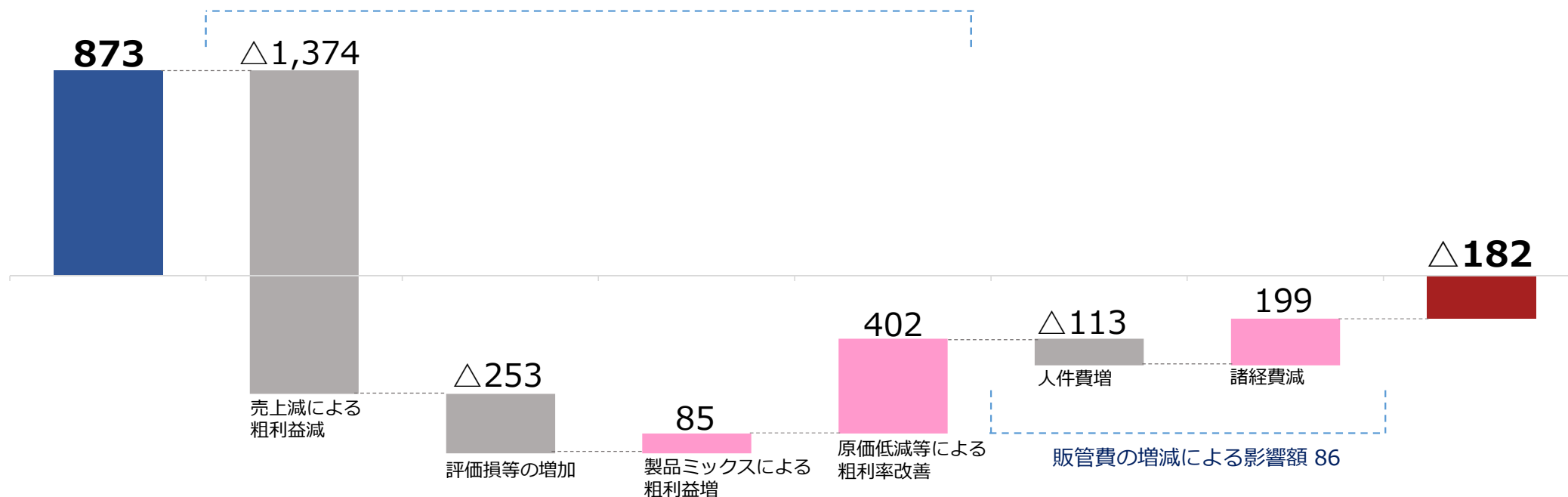
2020年3月期第2四半期累計 連結営業利益 増減要因分析（対前期）

（単位：百万円）

売上 15,298

売上 11,641

売上総利益への影響額 $\Delta 1,140$



‘19/3期2Q累計 ←

営業利益(1,055百万円減)

→ ‘20/3期2Q累計

2020年 3月期 上期トピック

コンプレッションモールド装置の需要増！

● コンプレッション比率の推移

2017年3月期 (通期)	2018年3月期 (通期)	2019年3月期 (通期)	2020年3月期 (上期)
38%	36%	31%	44%



+13pt !

● コンプレッション装置の優位性

- ・ 樹脂使用効率**100%**
- ・ ハイスピードで**高真空**な成形が可能
- ・ 樹脂流動のない圧縮成形(**不良品が少ない**)
- ・ 顆粒/液状樹脂の両方に対応



- ◎ 最先端製品(微細、極薄、積層、大型基板)に最適
- ◎ 大判サイズ(パネル、ウェハー)に対応

● 今後の需要予想

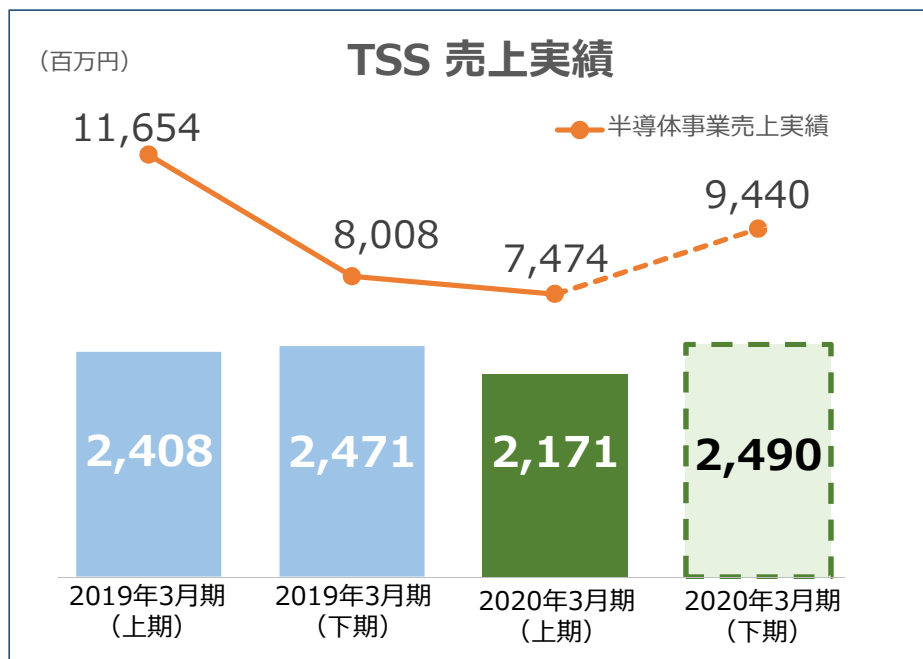
- ・ 市場低迷の反面最先端デバイス向けへの先端投資は継続！
- ・ 半導体の高度化に対するコンプレッションの需要に期待！

2020年 3月期 上期トピック

新事業

TSS売上は堅調に推移

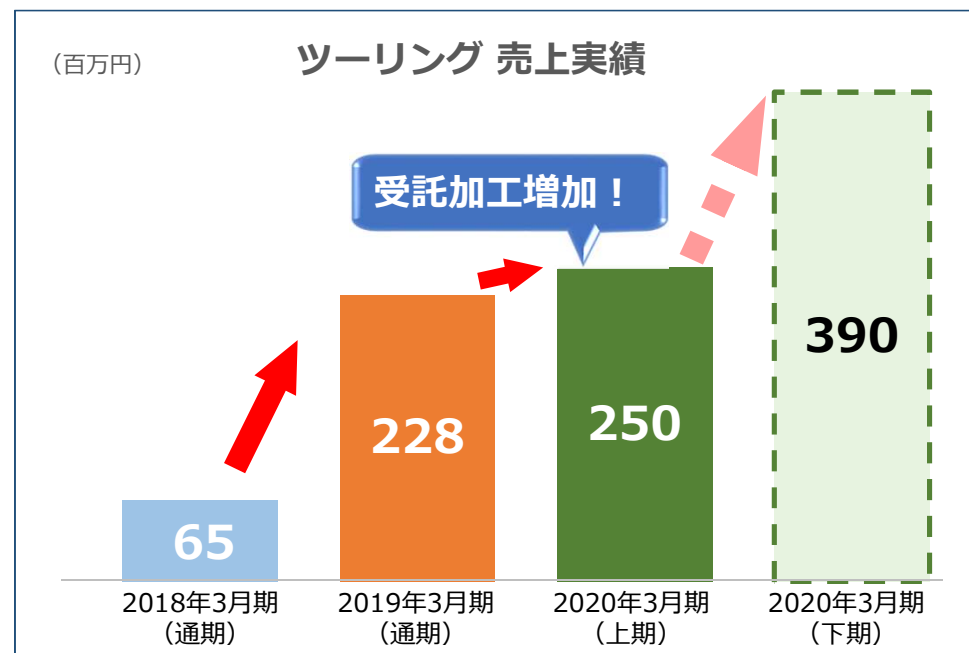
やや落ち込みは見られるものの、
厳しい半導体市況に対し、安定的に推移！



新事業

ツーリング売上が大きく伸張

受託加工が好調に推移し、前年通期の売上金額
を上期で達成！！



本日の主な説明内容

1. 2020年3月期 上期実績

2. **2020年3月期 通期予想**

3. 2020年3月期 下期取組み

2020年3月期 通期 連結業績予想（修正）

（単位：億円）

	2020/3期 上期実績	2020/3期 下期修正予想 (10/29公表)	2020/3期 通期修正予想 (10/29公表)	2019/3期 通期実績	前年比
売上高	116.4	141.0	257.4	282.7	▲25.3 (▲8.9%)
営業利益	▲1.8 (▲1.5%)	9.0 (6.4%)	7.2 (2.8%)	9.4 (3.3%)	▲2.2 (▲23.4%)
経常利益	▲2.8	9.0	6.2	9.4	▲3.2 (▲34.0%)
当期純利益	▲2.0	6.4	4.4	8.8	▲4.4 (▲50.0%)

※当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

2020年3月期 セグメント別売上高計画（修正）

（単位：億円）

	2020/3期 上期実績	2020/3期 下期修正予想 (10/29公表)	2020/3期 通期修正予想 (10/29公表)	2019/3期 通期実績	前年比
売上高	116.4	141.0	257.4	282.7	▲25.3 (▲8.9%)
半導体事業	74.7	94.4	169.1	196.6	▲27.5 (▲14.0%)
化成製品事業	7.9	8.1	16.0	16.0	±0 (-)
新事業	24.3	29.5	53.8	51.7	+2.1 (+4.1%)
レーザ事業	9.5	9.0	18.5	18.4	+0.1 (+0.5%)

2020年3月期 配当計画

	2019/3期 実績	期初計画	修正予想 (10/29公表)
配 当	16.0円	16.0円	16.0円

※配当方針「安定・継続配当」に基づき、16.0円に変更なし。
なお、中間配当は見送りとさせていただきます。

本日の主な説明内容

1. 2020年3月期 上期実績
2. 2020年3月期 通期予想
- 3. 2020年3月期 下期取組み**

2020年3月期 下期取組み

最先端パッケージ市場での更なる優位性の確保

リーディングカンパニーとして様々なソリューションを提供

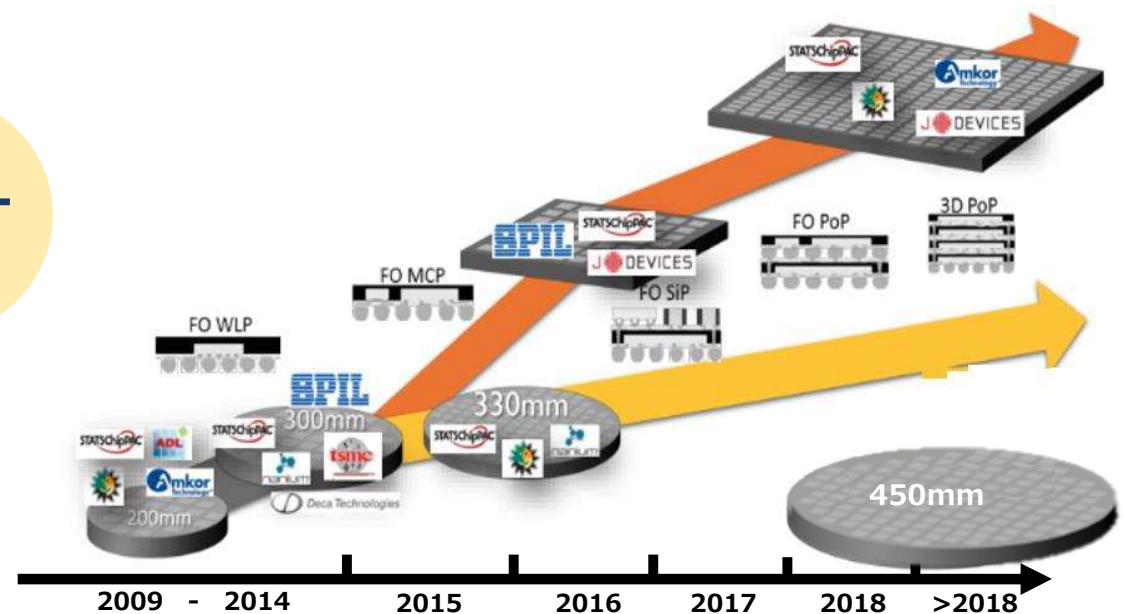
ファブレス

WLP・PLPのディファクトスタンダード確立を目指す!!

OSAT

研究機関

樹脂メーカー



SOURCE :Yole development. 2016のデータを基に当社で加筆

2020年3月期 下期取組み

新たな事業確立に向けた新事業の積極展開

市況に大きく左右されない強い事業基盤の確立

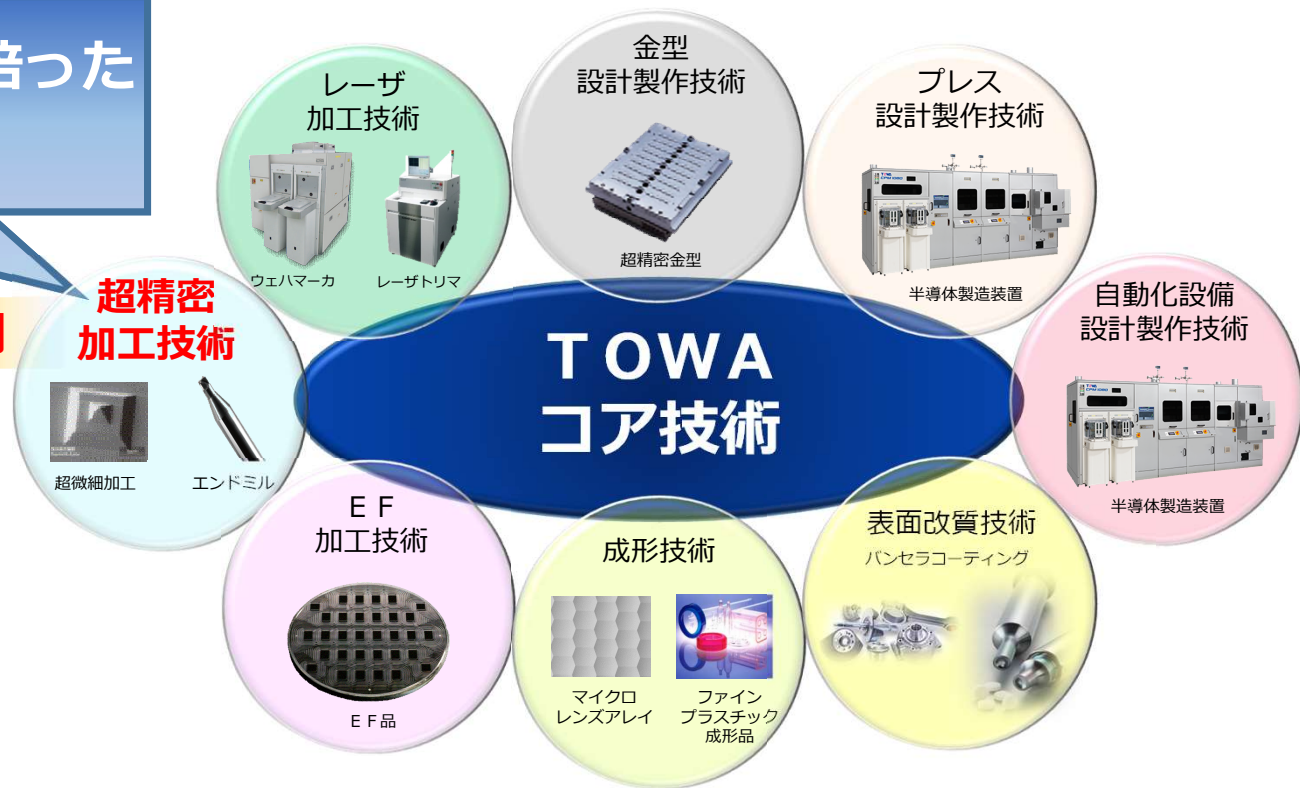
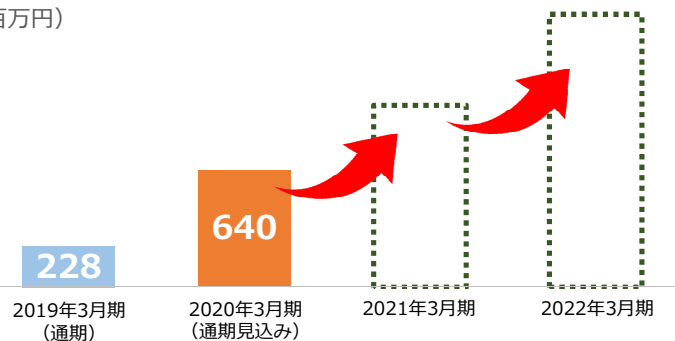
半導体製造用精密金型の生産で培った
超精密加工技術

自動車関連等の受託加工

応用展開

ツーリング 売上見通し

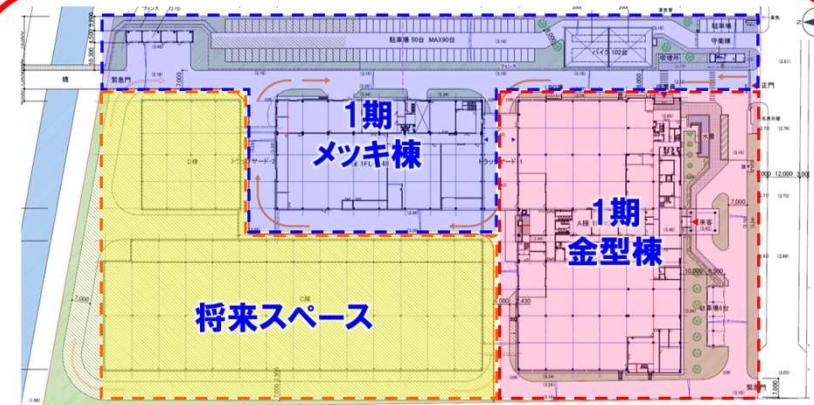
(百万円)



2020年3月期 下期取組み

東和南通の新工場を着工予定！

東和南通 新工場



第1期着工予定 2020年3月

第1期竣工予定 2021年1月

社 名	敷地面積	工場面積
東和半導体設備（南通）有限公司	36,666m ²	金型棟 9,799m ² メッキ棟 4,367m ² (※計画の面積)

- ・ 中国3拠点連携によるローエンド、ミドルレンジ向け金型、装置市場での受注獲得を本格化！
- ・ メッキ、焼入れ設備も導入予定。新たな市場の開拓へ！

2020年3月期 下期取組み

MIPプロジェクト開始！

🌀 MIPプロジェクトとは？

MIP = **M**inimum **I**nventory & **P**eriod の略語で、TOWAにおける装置生産方式の見直しに関するプロジェクトを発足！

- ・ 製作リードタイムの短縮
- ・ 在庫品および在庫金額の削減
- ・ 社内加工品の最適生産
- ・ 関係会社における生産力の強化



強固な財務基盤の構築と、
柔軟な生産体制の確立へ！

【具体的なターゲット（一例）】

現在のリードタイム

3～4カ月

仕様打合せ・設計時間の短縮、生産の効率化！



ターゲット

1～2カ月

2020年3月期 下期取組み

TOWA パラダイムシフト

～新たなステージへ～

◆ これまでの考え方

金型 + 装置 = 販売



発想の転換

モノの販売から **付加価値の販売** へ意識改革！

◆ これからの考え方

・ 真空技術
・ コンプレッション

・ ゼロディフェクト
・ TSS

・ 金型レーザクリーニング

技術 + 品質 + プロセス = 販売

➡ **世界のモールドプロセスをTOWAに！！**

世界のモールドプロセスをTOWAに!!



TOWA 10年ビジョン

ものづくり企業の真価に挑む

《本資料に関するお問合せ》TOWA株式会社 企画部

〒601-8105 京都市南区上鳥羽上調子町5番地 Tel : 075-692-0251

本資料には当社グループの計画や方針、財務、技術、製品、サービス、業績等に係る将来予想に関する記述が含まれております。将来予想に関する記述は、あくまで当社グループが現時点において入手可能なデータや仮定、方法等に基づき、当社グループが判断したものであり、様々なリスクや不確定な要因を含んでおります。また、新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。したがって、本資料に含まれる将来に関する記述は、実際の結果とは大きく異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。